



## 特集！ 後輩へのメッセージ 合格体験記

推薦及び一般入試での合格を果たした3年生から、後輩への貴重なアドバイスをもたらした。先輩たちは目標に向かって最後まで逃げずに挑戦し、合格を勝ち得た。先輩達の体験をしっかりと胸に刻み、ぜひ自分の進路実現、今後の学習に役立ててほしい。

### 回答事項

- ①授業・定期考査の取り組み ②小論文対策 ③面接対策 ④部活動との両立  
⑤「ああしておけば良かった！」と後悔している反省点 ⑥1日の平均家庭学習時間  
⑦1日の平均睡眠時間 ⑧受験のために我慢したこと ⑨2年生へ「今ぜひともやっておくべきこと」



<国公立大学推薦入試合格>

### ★布沢 胤乃 (福島大学人文社会学群行政政策学類)

①定期考査直前の学習は少なく済むように、授業は集中して受けた。推薦対策がメインで、テスト勉強はほどほどでした。②字数と何問かを確認したが、完全に解いた過去問は2つだけでした。③面接は苦手だったので、様々な質問を想定して何を答えるかを沢山ノートにまとめておいた。完全に覚えるのではなくキーワードを覚えることを意識した。④2年の終わりに部活動はやめました。両立できるのであれば続けた方がいいと思います。⑤勉強中にスマホは同じ空間に置かない方がよい。自分はずっと使ってしまう勉強時間の確保が難しかった。⑥平日5～6時間、休日8時間 ⑦4～5時間 ⑧二度寝、Youtube、ゲーム ⑨自分に合った学習スタイルを早く見つけて、忠実に従いましょう。体調を崩すくらいなら少し長めに睡眠をとる日があつていいと思います。

### ★中丸 瑠偉 (福島大学人文社会学群経済経営学類)

①期末考査は休み時間を利用して勉強し、授業中に全て覚えるつもりで聞いた。②3年の夏休みに小論文対策本を買いやり始めた。毎日ニュースを見て新聞も読んで知識を増やした。受験日3週間前からは、時間を計り早く書く練習をした。③最初の面接練習は志望理由書が出来上がっておらず曖昧なことしか言えなかった。そこからすぐに志望理由書を完璧にするため先生の手を借りながら仕上げた。志望理由書からどんなことを聞かれてもいいようにしておいた。面接に慣れるため、先生や生徒と放課後何度も練習した。④部活で忙しくても定期考査の点数は絶対落とさないようにした。⑤勉強・小論文対策をもっと早く始めるべきだった。⑥平日3時間、休日4時間 ⑦4時間30分 ⑧ゲーム・マンガ・アニメ・散歩・睡眠 ⑨新聞を読む→社会系の学部

## ★目黒 冬馬（福島大学理工学群共生システム理工学類）

①授業は授業、受験は受験とけじめをつけて臨んだ。授業中になるべく覚えて受験勉強との両立を心がけた。②福大の過去問を中心に行った。新聞も毎日読み、速読と記事に対しての自分の意見を持つように心がけた。③過去の質問項目は全て調べて言えるようにした。志望分野のニュースはノートに自分の意見を書き留めた。先生方に口頭試問対策をお願いした。本番では面接官との会話を意識し、終始笑顔で答えた。④夏場から両立が厳しくなったので、勉強に専念した。⑤志願理由書と小論文対策を余裕をもって早く完成させておくべきだった。⑥平日4時間半、休日7時間 ⑦5時間 ⑧部活動・テレビ ⑨新聞を読むこと。面接は笑顔が大事！

<看護系私立大学推薦入試合格>

## ★鈴木 尊（国際医療福祉大学保健医療学部看護学科）

①AO入試の反省を活かして試験科目の教科は特に頑張った。わからないところは、友達や先生に聞き、職員室前で学習した。定期テストで点数を落とさないために、受験勉強とテスト勉強を両立させた。②医療関係の問題だけでなく、一般常識を問われる問題にも取り組んだ。実際に試験では成人年齢の引き下げについて問われたので、ニュースや新聞に目を通しておいて良かった。③志望大学のオープンキャンパスに参加して学校の魅力や出題傾向を把握した。面接練習で指導されたことは、ノートにまとめいつでも振り返れるようにした。④家に帰ったら少し学習し早めに寝て疲れをとり、朝早く起きて学習に取り組んだ。⑤志望理由書の提出書類が期限ギリギリになったので、もっと余裕をもって出せば良かった。⑥平日2～3時間、休日4～5時間 ⑦6時間 ⑧ゲーム・友達と遊ぶこと ⑨基礎学力の定着と新聞やニュースを見て一般常識の力をつける！

## ★星 潤次郎（国際医療福祉大学保健医療学部看護学科）

①授業中きちんとノートを取り、テスト前に確認できるようにした。暗記問題は何度も教科書を読み反復練習を行った。授業後の復習は忘れず行った。②最近のニュースを確認し「気になるワード」や「頻出度の高いワード」を下調べし、どんなテーマが出ても対応できるようにした。何度も練習し文を構成する力をつけた。③自分で面接ノートを作り、もらったアドバイスはすぐにメモるようにした。何度も練習し自信をつけるようにした。④部活動を行っていた期間は基礎学力を身につけ土台を作るようにした。⑤常日頃から新聞やニュースを見て時事問題に触れておけばよかった。⑥平日2～3時間、休日5時間以上 ⑦5～6時間 ⑧映画鑑賞、アプリゲーム、友達との遊び ⑨今は高い目標を掲げ計画を立てるようにした方が良く、僕みたいになりたくなければ。

<私立大学推薦入試合格>

## ★齋藤 千聖 (郡山女子大学家政学部食物栄養学科)

①多くの科目で85点以上を取れるようにし、自分の苦手科目に重点を置けるよう計画を立てた。評定平均4.5以上にキープすることを絶対的な目標にした。②なし。③ノートを作り、調べたことやアドバイスを書いた。先生方や友達と回数を重ねるごとに落ち着いて出来るようになった。入室から大きな声と笑顔で相手から目線をずさらないことを意識した。後半は「面接だけで受かってやる」くらいの勢いでした。④切り替えをしっかりと。ダラダラと引きずらず勉強モードへの切り替えが大切。⑤1年生から基礎を定着させれば受験勉強がもっと楽になった。私の感覚では職員室前の机がかなり集中できる場所だった。⑥平日約5時間、休日約8時間 ⑦約6時間 ⑧出かけること、動画を見ること ⑨授業の内容が受験に出ます。今のうちから基礎知識を身につけることをオススメします。面接は回数を重ねることと自信を持つこと。目指せ！第一志望校。

<看護系専門学校推薦入試合格>

## ★馬場 理奈 (竹田看護専門学校看護科)

①授業では、先生が黒板に書いていないことをメモしておく。定期考査では、自分の目標(平均85点以上)を達成するために短期集中でやった。私は書くよりも、何度も繰り返し行い、漢字が難しいところだけ書くようにした。②なし。③基本的な問題と過去問は完璧に答えられるようにしておく。つまづきそうだと思うところがあれば考えておく。集団討論は何回も練習して流れをつかむ。とにかく練習するのみ！④部活動と勉強の切り替えをしっかりと。⑤私は現代文が苦手なので、毎日本を読んでおけばよかったと思う。英単語や漢字などの基礎をやっておけばよかった。⑥平日2時間、休日5時間 ⑦6時間30分 ⑧遠くに遊びに行くこと、友達と遊ぶこと ⑨面接対策、志願理由書は早くやっておいて損はない！早くやっておけば試験前に勉強する時間が増える。

## ★大竹 夢叶 (竹田看護専門学校看護科)

①授業でわからないところは、先生や友達に聞き理解できるまで勉強した。テスト期間は学校に残り集中して勉強した。テスト前に大会があった時は、バスの移動時間に単語などを暗記した。②なし。③面接ノートを作り、いつでも振り返れるようにした。集団討論と集団面接、両方行った。先生や友達に頼み、何回も練習した。④私は部活>勉強だったので、疲れた時は「ここまで勉強する」という小さな目標を立ててやっていました。引退してからは受験モードに切り替え、友達と頑張りました。夏休みが今までで一番勉強した。⑤現代文の演習問題に早く手を付ければよかった。もっと本を読めばよかった。⑥平日3~4時間、休日5~6時間 ⑦約7時間 ⑧外出を控えた。⑨受験科目を調べ、早めに対策すると良いと思います。先生に添削をお願いして教えていただくと力がつきます。夏休みにどれだけ勉強したかが鍵になってくると思います。

<看護系専門学校推薦入試合格>

### ★小野 穂高（竹田看護専門学校看護科）

①授業で習った内容は授業中に覚えるようにする。数学は毎日復習した。定期考査前は職員室前で勉強しわからない問題があれば先生に聞いた。②なし。③集団討論対策は当日まで面接か討論かわからなかったなので、討論の練習もした。週2回練習した。ニュースや新聞を見ていないと内容が理解できないのでニュースは大事です。7月頃から情報を集めるようになり、自分の伝えたいことをノートにまとめた。空いた時間は友人と面接練習をした。④放課後は部活動に本気で取り組み家に帰ったら国語・数学・英語の3教科をメインに勉強した。寝る前の30分間は必ず読書をしていた。⑤もう少し早くから勉強を始めればよかった。⑥平日4時間30分、休日8～9時間 ⑦6時間 ⑧テレビ（見るならニュースだけ）、携帯 ⑨英検や漢検など資格をとる。新聞を読んだり、本を読んで情報を集める（面接の時に役に立つ）。

### ★星 伶奈（竹田看護専門学校看護科）

①受験教科は、復習のつもりで取り組んだ。②なし。③決められた日程だけでなく、自分からもお願いした。試験が遠足の次の日だったので帰りのバスで面接を一人で見て最終確認した。「ゆっくり、大きく、にこやかに」を心がけた。集団討論と面接のどちらも練習した。④切り替え。⑤特にはないです。できるだけことはやったと思います。⑥平日3～4時間、休日6～7時間プラス面接ノートや志願理由をまとめる時間 ⑦5～6時間 ⑧友達との交流、放課後は特に話したくなるので、別教室で一人でやっていた。⑨受験先の学校を知り尽くす！不安がなくなるまでやりきる！休みの日は図書館で勉強すると集中できます。「楽しい」よりも「将来の自分」をイメージして取り組むこと。看護は板橋先生が教えてくれました。夏休みも毎日やってくれて感謝しかないです。その他の先生も忙しい中、見てくれたので感謝です。

<雑感>看護系専門学校合格者8名（上記竹田看護合格者以外の看護合格者の星ひかる、鈴木菜美、町島由珠、渡部綾の4名も含めて）の受験勉強への積極的かつ前向きな姿勢・取り組みは大変りっぱであった。私には、大学受験の生徒以上に「合格したい」という本気度・熱意が伝わってきた。「将来必ずや患者さんに好かれ信頼される看護師になるだろう」という確信と期待のもてる8名である。

<公務員試験合格>

### ★渡部 英司（陸上自衛隊自衛官候補生）

①授業後の復習。テストで間違った問題を復習。②なし。③早めに進路のノートをつくり、自己分析したことをまとめる。新聞やニュースを見て、社会の出来事に対する自分の意見を持っておく。過去問の質問に対して自分の考えを言えるようにする。④スキマ時間を無駄にしない。眠気が覚めない時は、寝て朝早起きをしてやる。⑤勉強したことを本気で見返す。早い時期から早く起きて学習する。⑥平日4時間 休日8時間 ⑦5時間 ⑧テレビ、ゲーム、映画 ⑨多くの問題を解き、わからない問題をなくす。